

こんにちは

会社訪問記

有機汚泥の堆肥化プラントが完成、
産業廃棄物の有効利用に積極的にチャレンジ。

成和环境株式会社

(愛知県豊橋市)

豊橋を中心に収集運搬から中間処理、最終処分まで一貫して行う成和环境株式会社に伺い、豊田社長にお話ししていただきました。

— 事業内容をお話ししていただけますか。
豊田社長（以下豊田に略）『当社は昭和51年に設立し、最終処分場の運営から、中間処理、収集運搬までトータルに取り組んでまいりました。現在は産業廃棄物と一般廃棄物の処理、工場のピット清掃を事業内容としています。』



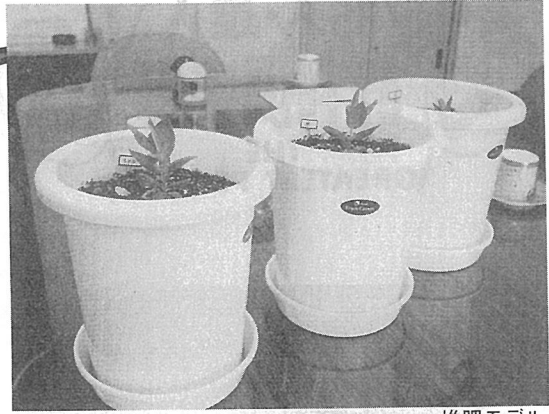
豊田社長

— この2月に有機汚泥を堆肥化する技術を開発されたと聞きましたが。豊田『はい、食品工場から出る物と下水道汚泥を混合し発酵させ、堆肥にする技術を以前から研究しており、実用化にこぎつけ、日量80トンの有機汚泥が処理できる弥栄工場を建設しました。』

— この技術の特長を簡単に説明してください。豊田『簡単に言えば、微生物を使って有機汚泥を完全に発酵させ、堆肥化する技術です。特長は、発酵過程をわずか2週間で実現するという点、そして密閉型のシステムをつくりましたので、臭気の問題もありません。この技術を開発しようと思ったのは、汚泥の処理が問題となっており、何とか解決策を見つけて少しでも社会に貢献したいという一念からでした。』

— 今後、この技術を事業の大きな柱にしていける予定ですか。

豊田『そうなるように努力していきたいと考えています。これからの処理業者は、何でも埋立処分するのではなく、出てきた廃棄物をいかに元に戻すか、いかに使うかが大切になってくると思います。この廃棄物にはこんなリサイクルの技術があ



堆肥モデル

りますとか、コンサルテーションの部分で信頼を得ていかないといけないようになる。私は弥栄工場をモデルに、有機汚泥の堆肥化を知っていただけるよう努めていくつもりです。』

— では最後に話題を変えて、自社の未来像についてお話しいただけますか。

豊田『私の理想像はアメリカのウエイスト・マネジメント社です。研究室や実験室などをつくり優れた技術を開発できる環境を整備し、学生がぜひ入社したいと思う存続させたい企業体にしていきたいと考えています。私たちの仕事は決してきれいなものではありませんが、社会に貢献できる仕事であるという誇りをもって働いていただけるようにしたい。そのためには、もっと頑張り、社員に大きな夢を与えられるよう努力しなくてはならないと痛感しています。』



社名/成和环境株式会社 所在地/愛知県豊橋市東幸町字東明5
代表者/豊田能史 設立/昭和51年 従業員/55名 TEL /0532(63)5131
事業所/本社、支社、弥栄工場
営業種別/収集運搬、中間処理(脱水)、最終処分
取扱品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鋳さい、建設廃材、ダスト類、その他、引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害廃石綿等、特定有害汚泥